



平成28年 東村山稲門会新年会 新入会員7名を迎え、お箏と尺八の音色に新春を感じて



新年会は、1月16日（土）サンパルネ・コンベンションホールで、午後5時から会員、ご家族、新入会員の総勢76人の出席で開催されました。総合司会の阿部幹事から新年会開催が伝えられ、副会長滝川桜子による開会宣言に続き、當間昭治会長から昨年11月の総会で創立20周年記念事業の推進と高齢化に伴う減少に歯止めをかけるため5つの委員会が設けられ、役員の皆様のご助力による新年会の開催である。本日は、楽しくまた多くの校友と交流して過ごしてほしい。これからも20年の伝統を受け継いで、さらに東村山稲門会の充実、発展していく稲門会を目指したいので、皆様ご協力お願い致します、との挨拶が述べられました。そして最高齢でご出席くださった江藤さん（昭27年政経卒）の「ますますの稲門会の発展を祈念します」という乾杯のご発声でスタートしました。

しばしの懇談後、大内副会長のご紹介により、メインイベントの、東村山在住人間国宝、尺八演奏家青木鈴慕氏（校友）が主催する「鈴慕会」の会員の3人の方々のお箏と尺八演奏があり、参加者は雅びなお正月らしい音色に聞き入りました。そして最後に思いもよらぬ尺八による校歌が演奏されて大いに盛り上がり、素晴らしい時間を過ごすことができました。

その後、山本副会長から、「今回12人の新入会員を迎えることができ、本日そのうち7人の方が出席されています」との紹介後、お一人ずつの自己紹介がありました。参加者の方々は、（敬称略）青木泰（昭44理工）、荒巻優之（昭51法）、小山友希（平23文化構想）、上町弓子（平6文）、中 滋（昭53文）、波多野敏治（昭43文）、湯ノ口弘和（昭53理工）の方々と、小亀前会長ご寄付の早稲田グッズの記念品が贈られました。





青木 泰さん 荒巻優之さん 小山友希さん 上町弓子さん 仲 滋さん 波多野敏治さん 湯ノ口弘和さん
(新入会員の方々です)

引き続き第 2 イベントの福引が、小野、青山、紅松幹事らによって行われ、賞品は、5,000 円 1 本、3,000 円 3 本、1,000 円 10 本の商品券と、ご寄付として山下元会長のジョンレノンのサイン入りの絵皿と、小亀前会長の 5 人分のプレゼント、當間会長の地酒東村山でした。籤は、



会場から、崎山さん、當間会長夫人、木谷夫人、倉田夫人、當摩（照）幹事、山下、三宅元会長、小亀前会長に参加して頂き、当選籤を引いて頂きました。そして全部で 23 人の方々にちょっとした運の良さという楽しみを味わっていただくことが出来ました。

最後に、いつもの小森さんのリードで、早稲田大学校歌、東村山稲門会の歌を参加者一同、高らかに合唱したあと、戸田幹事により、「東村山稲門会も創立 20 歳で成人式を迎えて大人になったことになる。早稲田大学の特色は、いろいろな考え、多様な価値観の持ち主がたくさんいることである。稲門会の集まり、同好会に参加して、多面的な価値観を認めあい、ふれ合っていくことにより、稲門会を発展させていきましょう」という閉会の辞があり、新春交流新年会は幕を閉じました。

(滝川桜子 記)

【出席者 敬称略】

青木 泰、青山 稔、赤荻洋一、秋山 剛、阿部 茂、荒巻優之、井垣和太、池田 孝、石井久長、市川彰彦、一色泰久、井原 徹、伊吹史朗、江藤昌明、大内一男、大森平八郎、岡田一郎、小野 智、小山友希、風間和夫、加藤正俊、上町弓子、木谷 肇、木野友博、倉田哲也、紅松容子、黒田祐司、小亀輝雄、小菅 宏、小林俊治、小森敏孝、坂本秀夫、崎山祐子、佐々木昌敏、清水 聡、高橋鶴次郎、高橋正夫、高部素行、滝川桜子、滝川正義、滝来京子、田口政澄、月森通夫、土橋雄次、當間昭治、當摩照夫、戸田志郎、豊田友吉、仲 滋、長井 治、南湖修一、野中昭夫、野村茂樹、波多野敏治、羽倉彰彦、樋地正秀、深瀬 聡、福田昇七、藤澤博恭、堀田秀夫、町田和夫、三宅良太、宮元祥吏、森本 吏、守屋幸一郎、山下邦康、山本岩男、湯ノ口弘和、吉田 勝、吉田劭文、木谷夫人、倉田夫人、當間夫人、お箏 青木麻衣子、青木眞子、尺八 黒田鈴尊

会からのお知らせ

○ 平成28年3月定例役員会

日時	3 月 5 日 (土)	14:00 ~ 16:30
場所	市民センター	第 3 会議室

○ 新入会員

新入会員募集活動によって、以下の 11 名の方々が入会されました。

波多野 敏治 さん 昭和 43 年 文学部卒
〒 189-0013 東村山市栄町 2-28-5-801

- 尾関 彰一 さん 昭和 49 年 法学部卒
〒 189-0024 東村山市富士見町 1-12-2-7-804
- 湯ノ口 弘和 さん 昭和 53 年 理工学部卒
〒 189-0014 東村山市本町 1-17-3-501
- 荒巻 優之 さん 昭和 51 年 法学部卒
〒 189-0026 東村山市多摩湖町 3-7-1-105
- 青木 泰 さん 昭和 44 年 理工学部卒
〒 189-0021 東村山市諏訪町 2-15-45
- 仲 滋 さん 昭和 53 年 文学部卒
〒 189-0014 東村山市本町 2-14-1
- 小山 友希 さん 平成 23 年 文化構想学部卒
〒 189-0014 東村山市本町 2-16-9-302
- 上町 弓子 さん 平成 6 年 文学部卒
〒 189-0023 東村山市美住町 2-27-30
- 藤井 省 さん 昭和 52 年 理工研卒
〒 189-0001 東村山市秋津町 3-17-53
- 植村 正身 さん 昭和 39 年 法学部卒
〒 189-0024 東村山市富士見町 4-14-42
- 前田 恒文 さん 昭和 51 年 文学部卒
〒 189-0001 東村山市秋津町 3-40-18

○ 皆様で保守できるホームページに作り変えて行きます。

現在のホームページは開設後 3 年になりますが、創立 20 周年を機に、より一層親しみやすく身近なものになるよう、時間をかけて作り上げて行きたいと考えております。「ホームページ作成・維持管理にご興味のある方、お手伝いしていただける方を募集します。

連絡先：小菅 宏 電話／FAX 042-391-0219

ご協力のほど宜しくお願いいたします。

○ 他稲門会関係

2 月 6 日（土） 武蔵村山稲門会総会 三宅顧問出席

○ 新記念会堂（仮称）募金への支援のお願い

記念会堂は早稲田大学創立 75 周年を記念して 1957 年に竣工し、その後 58 年ものあいだ、正課授業や体育各部の活動場所として我々が自己研鑽を重ねた場所でした。会員の皆様にとっていろいろな思い出のある記念会堂は、現在その姿を一変すべく 2019 年の竣工に向け建築がスタートしました。

新記念会堂の概要につきましては、昨年 11 月の総会時に皆様に資料としてお渡ししました。5 つの銀行から無手数料で払込の出来る取扱票も同封されています。稲門の絆を深めるこの拠点に対し、支援の輪を広げようではありませんか。

（本件のご照会は会長の當間までお願いします。）

早稲田大学第12代総長 西原春夫先生 東村山に来る！ 第93回市民雑学講座

日 時 : 平成 28 年 4 月 9 日 (土) 15:30 ~ 17:00
場 所 : サンパルネ・コンベンションホール
講 師 : 西原春夫 先生
演 題 :



「人生は大事な事ほど、偶然で決まる。では、どう生きるか。」

東村山稲門会創立 20 周年を記念し、市民雑学講座に初めて早稲田大学元総長をお迎えすることが出来ました。西原春夫先生は 1982 年 ~ 1990 年まで総長をつとめられ、母校の隆盛に貢献されました。この年代に早稲田の杜で学ばれた会員はもちろん多くの校友及びご家族お誘いあわせの上お出かけ下さい。

また先生はお酒を召し上がらないため、講演会后コーヒー紅茶で先生を囲みお話を伺う会をご用意いたします(会費 1,000 円)。参加希望者は下記までご連絡下さい。

お問い合わせ・連絡先 大内一男

E-mail : ohuchi6_7kzytmsk@aurora.ocn.ne.jp

mobile : 090-4836-5886

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

カラオケ同好会

世話人 南湖 修一 TEL 042-390-2287



平成 28 年 1 月の例会では井垣さん、山本さん、小松原さん、南湖 4 名が各人 5 曲ほど歌って楽しみました。今後の予定は以下の通りです。

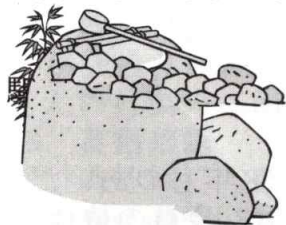
平成 28 年 3 月 5 日 (土) : 19:00 より

平成 28 年 4 月 9 日 (土) : 19:00 より

なお、上記の他に、4 月 17 日 (日) 12:00 から JR 武蔵野線新秋津駅周辺で、東村山稲門会創立 20 周年記念行事として特別カラオケ会を開催する予定です。皆様ぜひご参加ください。(会場は「歌うんだ村」を予定しています。)

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



第 84 回「稲酔」俳句会は、2 月 27 日 (第四土曜) 14:00 ~ 久米川傍「丸藤」2 階で開催します。

雲一つ無い元朝の空に初日の出が昇り、2016 年が明けました。

本年も俳句同好会「稲酔」俳句会を宜しくお願い申し上げます。

今年は東村山稲門会創立 20 周年。当会も 14 年目となります。

新年会に出席された新入会員の方々に当会へのご参加を案内致しましたところ、3 ~ 4 名の方から好感触を得ました。一段と句座の賑わう年になりそうです。既会員の皆さんも脳の健康寿命増進のため、是非ご参加ください。

2 月句会の兼題は「春」一切です。(思う存分「春」という字を詠いましょう。)、兼題含む 5 句を前日までに世話人宛メール、FAX などでお届け下さい。

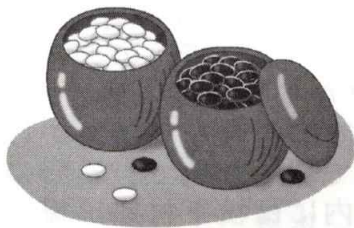
句会終了後 17:00 頃から、丸藤で恒例の懇談会食会をおこないます。

(稲雀 記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃
高鷺 近

TEL 042-394-0593
042-394-2336



平成 27 年 12 月 19 日(土)、会場確保の関係で遅れていた「第 31 回東村山稲門会囲碁大会」が、市民センター別館で開催されました。年末のせいか参加人数は 8 名といつもより少なく、A・B 二つのグループに分かれて、総当たり戦が戦われました。

A グループは、今回も福田(晃)7 段が全勝で見事優勝！ 他は全員 1 勝 2 敗と大接戦でした。B グループも大混戦で、3 名が 2 勝 1 敗で同率首位。抽選の結果、高橋(鶴)初段が優勝となりました。

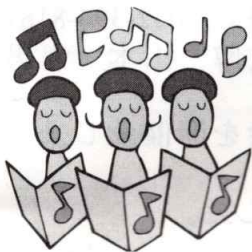
＜参加者／順不同＞ A グループ…福田・堀田・高鷺・當摩
B グループ…江藤・高橋・塩田・中川

次回の「例会」は、次の要領で開催します。奮ってご参加ください。

日 時 … 平成 28 年 2 月 27 日(土)、13 時開始
場 所 … 市民センター別館、第 4 会議室

音楽同好会

世話人 市川 彰彦 TEL 042-308-8181

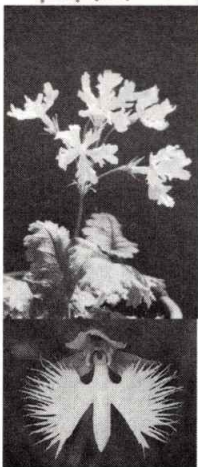


まだまだ風が冷たい日が続いています。皆様いかがお過ごしですか？ かし木々の芽も少しずつ膨らんで開花を待っています。「春は名のみの風の寒さや谷の鶯 歌は思えど、、、」この歌は長野県大町市安曇野の春の情景を吉丸一昌が詠じたものです。この詞に作曲したのは中田章です。中田章はこの曲以外は知られてはいません。小学校校歌や大阪市の市歌を遺したぐらいでしょうか。中田章の三男 中田喜直は父の血を引いたか多くの抒情歌を遺しました。「夏の思い出」「雪の降る街を」「小さい秋見つけた」「メダカの学校」とみんなが知っています。音楽同好会でも過去に何回か歌われています。私ごとですが一昔前、中田喜直作曲の歌を数人の歌手が歌う演奏会があり、その時中田喜直に会いました。「ああ優しそうな顔をしているなあ」と感想をもちましたが氏の政治的発言や言動を考えると、あの抒情的な曲を作曲したのが不思議な気持ちです。

3 月 8 日(火) 13 時半より 萩山公民館にて今年初めての音楽同好会の例会を開きます。現在、春に相応しい曲を選定しています。高橋文子さんが復帰して、素敵なピアノ伴奏で皆さんの気持ちをきっと和らげるでしょう。

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 042-396-3033



園芸の会では、1 月 22 日に新年のスタート、さくらそうの芽とサギソウの球根の交換会を行いました。交換会と言ってもこの頃は、藤澤リーダーの持ってこられる芽と球根をいただいて帰る事が通例化してしまった感があります。言い訳を言えば、それだけ夏の暑さなど近年の気候に適合させることが難しくなっているのです。今年は藤澤リーダーといえども大苦戦で、さくらそうの芽の出来は例年の半分以下だそうです。

また、サギソウも夏の猛暑は大敵で、一昔前の園芸書にはサギソウを育てるコツは一に光り、二に湿気と言うことでしたが、今では全く逆で、まず湿気を絶やさないと、そして五月以降は遮光、と言う変わり様のようです。

さて、いただいた芽を大事に育てて、美しい花を咲かせねばなりません。4 月下旬の開花に向けて、皆さん、鋭意努力しましょう。

ウォーキングの会

世話人

高橋正夫

TEL 042-309-3407



快晴に恵まれたとは言え、肌寒い北風に凍えるような1月24日(日)、世田谷の三軒茶屋駅をスタートし、近くの目青不動に立ち寄った後、趣のあるクラシックな世田谷線に乗って、松陰神社で下車、ここは処刑された松陰の遺骨を小塚原から門下生の高杉晋作、伊藤博文らが移して葬った地で、学問の神として立派な神社になっている。境内には松下村塾が復元されている。ここから吉良氏の居城だった世田谷城址を経て、広大な豪徳寺へ。境内には井伊家一族の墓所があり井伊直弼の墓も訪れた。

その後梅ヶ丘駅にほど近い、都内でも有数の梅の名所となっている羽根木公園に立ち寄ったが、まだ2分咲位だった。梅まつりが始まればかなりの人出で賑わう地になる。それから昭和を代表する多くの文士たちの旧居跡が点在している北沢川緑道を辿って、下北沢駅まで歩き、駅近くのイタリアンレストランで昼食を楽しんだ後の解散となった。

参加者(敬称略): 阿部・市川夫人・木野夫妻・小亀夫妻・町田夫妻・山本・高橋

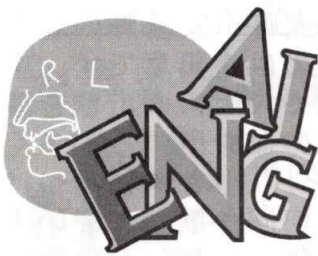
グローバルサロンの英語の会

世話人

滝川 正義

TEL 042-394-8187

小亀 輝雄、木野 友博、山本 岩男



1月19(火) 市民センター会議室で、第21回の会を開催致しました。

1. **Listening** Voice of America の教材を使用しました。

Americans : Jobs More Important Than Terrorism

ゆっくり読まれている英語を3回聞きました。

2. **Singing** ① Street of London / Ralph McTell.

② Fly me to the Moon / Nat King Cole

全員で元気に合唱しました。

3. **Guest Speaker**

木野 友博 様 「ローマで経験したこと」

木野さんご夫妻は、昨年南イタリアとローマを旅行しました。ローマの遺跡群を巡っていた時、足首をくじいたカップルを見てサロンパスを貼ってあげました。彼らは日本語で有難うと言いました。木野さんは外国旅行をする時、日本人の名にはじないように心掛けているとのことでした。

4. **Free Speech** 吉澤 勇 様

現在取り組んでいる水泳について語って頂きました。年をとっても体を鍛えている吉澤さんの行動力に出席者全員感心させられました。

5. **英語落語** 担当 滝川

「時そば」 英語で落語、滝川さんの芸達者を垣間見ました。

6. **Just** の使い方 担当 滝川

参加者(敬称略) 下記10名 守屋、赤荻夫人、黒田、大野、小亀、吉澤(勇)、倉田、木野、滝川(正)、山本

次回は平成28年2月16日(火) 市民センター2階 10:00 ~ 12:00 で開催します。

パソコン同好会

世話人

小菅 宏
福田 昇七TEL 042-391-0219
042-391-9726

A クラス：昨年は年賀状を作成して、それぞれ友人・知人にオリジナル年賀状をお出ししました。1月は「寒中見舞い」にチャレンジしました。年賀状のテクニックを駆使して、それぞれの工夫が凝らされた寒中見舞いが完成しました。

B クラス：今月のお困りごとは、先月の持越し以外に、パソコンが遅くて困る。先月勉強した写真のサイズを縮小する方法もう一度教えて等がありました。新しいテーマとして自分の「オリジナル名刺を作る」にチャレンジしました。作成方法は一応理解されたようなので、各自が自宅で作成して、今回は名刺交換会を開催します。また、受信メールをフォルダーに自動で振り分けて整理する方法を勉強します。見学も歓迎します。

参加者：下記以外にシルバー人材センターの講師 2 名がおります

1 月 9 日 **A クラス：**三宅、森本、月森夫人、小菅夫人。

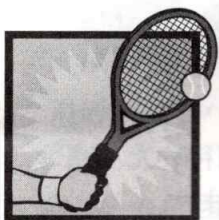
B クラス：山本、福田、當間、赤荻、吉田（劭）、高橋、小亀、紅松（容）、小菅（講）

○ 月 16 日 **A クラス：**三宅、森本、月森夫人。

B クラス：山本、滝来、福田、赤荻、吉田（劭）、高橋、小亀、小菅（講師）

テニス同好会

世話人

野村 茂樹
吉田 劭文TEL 042-393-7036
042-397-3293

新年 1 月前半は異常に暖かった反動でしょうか？後半に入り本来の冬の姿を見せてくれた 1 月です。月例テニスは 1 月 17 日運動公園 D コートにて 13 時から 15 時迄行いました。今月から 2 名の新入会員が加わり活気が出てきました。朝から気温が低く 1℃でしたが、昼過ぎにやっと薄日が射す天候の中、参加者 8 名は入念にウォーミングアップを行い、ミニテニス、ボレーボレー、ストローク、サーブと一通りの練習の後、試合に入りました、新入会員の荒巻さんも硬式テニスは数年前に遊び程度でプレーした事があると言っておりましたが、試合に入りましたら、豹変され、かなりのレベルの高いプレーをしていました、又山口さんもかなりの技術の豊富なベテランでありました、これから参加して頂けると、楽しみです、今後もお二人の参加を心待ちしております。8 名で 5 試合ほど試合をしましたが、「熱のこもった」試合でした。（参加者一荒巻、市川、黒田、滝来、戸田、野村、山口、吉田劭）

また 24 日（日）は西東京稲門会との懇親テニス大会を、西東京市の東町テニスコートで行いました。前回東村山市の運動公園コートで行いましたが、今回は西東京稲門会様でコートを取って頂き、我々がお邪魔して、一緒にプレーしました、西東京稲門会様は 10 人（うち 3 名は女性）部員が集まり、我々は 4 人が参加致しました、2 面取って頂きましたので、準備運動の後試合に入りましたが、休む暇もなく、一人で 7 ～ 8 試合ほど試合して、疲労困憊でありました（我々年寄にはちょっときつい！）西東京稲門会様は練習回数も 1 週間に 2～3 回プレーしているとの事で、機敏に良く走る、ストロークもボレーも上手い、と皆さんのレベルが高いと思いました。今回西東京稲門会様と試合を通じて反省しました。我々東村山稲門会も毎月の月例テニスの回数を後 1～2 回増やせるかの検討、テニスの技術（ストローク、ボレー、スマッシュ、）の向上のための練習をこれから実施したいと思い、同好会の会員に図りたい。（参加者一黒田、當間昭、野村、吉田劭）

1 月の月例テニスは 20 日（水）も予定しておりましたが、18 日の降雪の為コートが使えないため、中止しました。スポーツ宣言都市を表しているにも拘わらず、市民にサービス（雪掻きをして早くコートを使えるようにする）をしない市は、何が市民サービスなのか考えてもらいたい。＜西東京市を見習ってもらいたい＞なお 2 月の月例テニスは 2/10（水）運動公園 C コート 13 時～17 時、2/24（水）13 時～15 時、D E コート

同好会等 短期予定表

同好会・行事	2 月					3 月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	—	—	—	—	—	28	月	7:15	新秋津駅改札口	—	高橋正 042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	高橋正 042-309-3407
テニス同好会	10	水	13:00~17:00	運動公園コートC	—	9	水	13:00~15:00	運動公園コートE	—	野村茂 042-393-7036
	24	水	13:00~15:00	運動公園コートDE	—	13	日	9:00~13:00	運動公園コートCD	—	
囲碁同好会	27	土	13:00~	市民センター別館	—	—	—	—	—	—	高鷺 042-394-2336
カラオケ同好会	6	土	19:30~	カラオケランドズー	—	5	土	19:00~	カラオケランドズー	—	南湖 042-390-2287
園芸の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	當摩 042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—	—	20	日	12:30~	サロン「園」	—	阿部 042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—	—	8	火	13:30~	萩山公民館	—	市川 042-308-8181
俳句同好会	27	土	14:00~	「丸藤」2階	—	—	—	—	—	—	井垣 04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—	—	10	木	7:15	西武園ゴルフ場	—	紅松 042-393-6924
グローバルサロン英語の会	16	火	10:00~12:00	市民センター2階	—	15	火	14:00~16:30	市民センター2階	—	滝川正 042-394-8187
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大内 042-393-6543
パソコン同好会	6	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	5	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅 042-391-0219
	20	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	19	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	
雑学講座	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	當間 042-391-6023

編集局だより

○ 今年は暖冬と言うことで正月明けは暖かな日に恵まれましたが、やはり大寒を迎える頃には本格的な寒さとなりました。

なんと南国の島にも雪が舞ったとのこと。何とも異常続きです。この後もまだ雪が降るでしょう。滑って転んだり風邪を引き込んだりしないよう、お互い気をつけましょう。

○ 一連の会員数増強活動が実って、一挙に 12 名もの会員が入会されました。新しい会員の皆様には各イベントへの参加はもちろん、ぜひ各同好会にてご活躍いただくことを期待いたします。

○ 次号の締め切りは 2 月 20 日（土）です。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

Fax : 042-396-5698

Email : teruo_tohma@ozzio.jp

（當摩照夫）

俳 壇

八木 竜湖
風花の大きく開けし口に溶く
幼子の泣き声ひ弱雪起し

山下 波雲

人日の蒼穹に措く己が影
越え来しは！行く先は？門の松

栗島 三郎

独り居も賑やかなる三が日
余録ともおもう卒寿の年明かむ

井垣 稲雀

マドンナの賀状の文字も老いにけり
先ず一献而してのち初句会

出田 麦穂

養生は妻の手作り若菜粥
老猫と老妻眠る置炬燵

菊田 一平

破魔弓の鈴を揺らして都営バス
四日まだカーテン閉じて購買部

小亀 稻生

去年今年大隈侯像凍と立つ
ルート2の一夜一夜に梅見ごろ

黒田 柿黒

凜として椿の花は雪の中
冬の陽に背中を押され湖畔みち

高部 系行

森の木々裸木になり見える街
大雪や今朝の苦勞を言い交す